



# シルバーだより かほく

■発行・編集

公益社団法人 かほく市  
シルバー人材センター

かほく市高松ム68番地2(高松北会館)  
TEL(076)281-3655 FAX(076)281-3755  
URL <http://webc.sjc.ne.jp/kahoku/>

第16号 令和3年1月発行

かほく市シルバー  
人材センター

## 安全標語

令和  
2年度

## 優秀作品 (敬称略)

「気を抜くな 危険はすぐに 牙を剥く」

高島 廣司郎

「やりません ルール違反は 事故の元」

近谷 正孝

「仕事前 手足チョイトレ 怪我防ぐ」

砺波 文乃

「体力と 知力過信が 事故まねく」

本田 信行

「安全は 自分自身が 責任者」

沖野 裕

石川県シルバー人材センター連合会の金賞に選ばれました。



シルバーぶどう園 ぶどう狩り体験



謹んで新春の  
お慶びを申し上げます

皆様のご健康とご多幸を

お祈りいたします

本年もどうぞよろしく

お願い申し上げます

(公社)かほく市

シルバー人材センター

理事長 紺谷 重男 役員一同  
常務理事兼 事務局長 松井 浩二 職員一同

# 定時総会開催

と き / 令和二年五月二十九日(金)

午前十時

と ころ / 高松北会館

今年度の総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議決権行使書の提出をお願いし、出席者を制限した中での開催となりました。

紺谷重男理事長の挨拶の後、理事長を議長に選任して議題に入り、2件の議案が原案通り承認されました。

第一号議案

令和元年度事業報告承認について

第二号議案

令和元年度会計決算報告承認について  
監査報告

出席者 2名  
書面議決行使 215名  
合計 217名



## 令和二年 表彰受賞者

会員表彰 (入会順)

- |             |             |             |             |             |             |             |            |            |             |            |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|------------|
| 林 八重子 (余 地) | 高平 修司 (内日角) | 青崎 照子 (高 松) | 酒井 勝成 (宇野気) | 間戸 正彦 (高 松) | 柴田 雄三 (高 松) | 岡村 直樹 (松 浜) | 町出 昇 (白 尾) | 瀬戸 巖 (内高松) | 能口 伸雄 (遠 塚) | 松本 清 (宇 気) |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|------------|

表彰規程に基づき、10年以上にわたり、当センターの発展に寄与された11名の会員が表彰されました。今後ともセンター活動にご協力をお願いします。



## 年頭のご挨拶

理事長 紺谷重男

お慶び申し上げます。皆様方には、心新たに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。新年あけましておめでとうございます。

当センターは平成24年に公益社団法人の認定を受け、本年1月で設立16周年を迎えました。この間、会員・関係各位のご尽力・ご支援をいただき、契約件数等、ほぼ順調に推移してまいりました。

令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響を受け、就業の中断、縮小を余儀なくされることもありましたが、ブドウ栽培(ブドウ狩り体験は密を避け縮小して実施)を主とした農園事業が3年目となり、課題もある中、軌道に乗ってきたのではないかと思います。

また令和2年度が第1次中長期計画(5ヶ年)の最終年度となることから、本年より結果の取りまとめを行い、今後の運営計画につなげます。

さてご承知のように、超高齢社会となり、高齢者の就業促進が大変重要な国政の課題となっております。人生100年時代を迎え、高齢者の方々が生涯現役を旨とし、その能力を発揮されることは、健康を維持することになり、また地域への貢献・活性化につながる期待されています。

当センターとして、より一層就業機会を確保し、会員の皆様の安全と健康を第一に、センターとしての役割を発揮できるよう努めて参りますので、本年もよろしくご協力をお願いします。

## 専門委員名簿

任期 令和2年7月7日～令和4年3月31日

<b>安全適正就業推進委員会</b>		<b>就業開拓推進委員会</b>		<b>農作物栽培推進委員会</b>	
委員長 岡村 直樹	委員長 福島 博	委員長 中村 藤夫	委員長 青崎 照子	委員長 高松 義明	委員長 山本 修二
副委員長 釜田 順一	副委員長 能口 伸雄	副委員長 森田 位	副委員長 高島 廣司	副委員長 岡本 龍昭	副委員長 山本 修二
委員 今 重信	委員 瀬戸 雅之	委員 青崎 桑二	委員 高島 廣司	委員 岡本 龍昭	委員 山本 修二
委員 水口 孝義	委員 東 八重子	委員 高島 廣司	委員 高島 廣司	委員 岡本 龍昭	委員 山本 修二
委員 水口 孝義	委員 東 八重子	委員 高島 廣司	委員 高島 廣司	委員 岡本 龍昭	委員 山本 修二
委員 水口 孝義	委員 東 八重子	委員 高島 廣司	委員 高島 廣司	委員 岡本 龍昭	委員 山本 修二
委員 水口 孝義	委員 東 八重子	委員 高島 廣司	委員 高島 廣司	委員 岡本 龍昭	委員 山本 修二
委員 水口 孝義	委員 東 八重子	委員 高島 廣司	委員 高島 廣司	委員 岡本 龍昭	委員 山本 修二

## 令和2年度の活動状況

- 4月 会員便りの発行(1回/月)  
R2年度会計・業務監査実施
- 5月 R2年度第1回理事会開催  
R2年度定時総会開催  
ジベレリン処理講習会開催(ぶどう栽培講習会)
- 6月 卓球愛好会練習開始(2回/月)  
パソコン教室開始(2回/月)  
(コロナウイルスの感染拡大防止の為、6月より開始)  
県連合会\*定時総会出席
- 7月 高齢者ドライビングスクール参加(2回)  
第1回専門委員会開催/ぶどう畑収穫開始  
シルバー人材センター出張相談会再開  
(津幡ハローワーク)(1回/月)  
県連合会\*安全標語優秀賞受賞式
- 8月 R2年度第2回理事会開催  
ぶどう狩り体験会開催
- 9月 草刈り機講習会受講(津幡町内)  
スマートフォンの使い方無料講習会実施  
かほく市内安全パトロール実施
- 10月 ドローン講習会開催/安全運転実技講習会開催  
さつまいも収穫作業実施  
体験就業(高松地内 除草作業)
- 11月 ボランティア清掃実施
- 12月 シニアライフセミナー開催  
県連合会\*理事会オンライン出席  
R2年度第3回理事会開催  
お客様満足度調査実施  
中長期計画点検委員会開催

(\*県連合会=石川県シルバー人材センター連合会の略です)

## 今後の予定について

- 1月 R2年度広報紙発行/会員意識調査実施
- 2月 R2年度第4回理事会開催  
安全標語募集/交通安全講習会  
マナー講習会等を予定
- 3月 R2年度第5回理事会開催  
第2回専門委員会開催  
中長期計画策定委員会開催



# シルバー 人材センターの 活動紹介



農作物栽培

健康楽しむ

働く

ぶどう栽培

学ぶ

組織活動

## シルバー人材センターとは…



# 会員募集中!

※以下のお仕事を希望される会員を急募しています。

- ① 庭木の剪定
- ② マイクロバス運転手
- ③ 清掃業務(女性)



**入会  
説明会**

春からの仕事もありますが、  
詳しくは事務所より説明致します。

# お仕事募集中!

■日時/毎月第2金曜日 午後2時より  
■場所/(公社)かほく市  
シルバー人材センター  
(高松北会館)

### 事務局からのお知らせ

#### 庭木の剪定作業の 予約制度について

日頃は、当センターをご利用頂きまして誠にありがとうございます。

昨年からはじめました剪定予約制度ですが、7月の豪雨のため、多少の遅れは発生したものの、概ね、予定通りに作業が完了いたしました。

利用者の皆様には、今年も3月下旬に「往復はがき」で庭木剪定の受付案内を発送致しますので、ご返信下さいます様お願いいたします。



#### 就業体験制度の 実施について

シルバー人材センターでは昨年度より、新規入会を検討されている方を対象に、就業体験制度という制度を開始しました。

詳しくは入会説明会、若しくはお電話で説明させて頂きます。よろしくお申し込み申し上げます。



### あしがき

新年あけまして  
おめでとうございます

センターの広報誌第16号をお届けいたします。

さて、毎年発行している広報誌ですが、昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、東京オリンピックをはじめる多くの活動が制約され、誰もが経験したことがない年になってしまいました。

当センター事業でも、会員総会や理事会・講習会、互助会活動なども、書面議決などによる開催や、延期・中止もあり、お仕事では、小中学校の休校や福祉センターの閉館により、会員の就業にも大きく影響を及ぼしました。

そついで、独自事業として一昨年から始まった農作物栽培ですが、約400坪のフドウ畑と約350坪の野菜畑2枚を栽培しました。

この農作物栽培では「会員だより」でも協力を呼びかけた結果、43名(内女性8名)の会員に協力いただきました。

マスクを着けての農作業は、熱中症の心配もあり、複雑な思いで作業を行いました。が無事収穫も終わり、作業に携わった皆さんに感謝です。

尚、編集作業はセンターの普及啓発推進委員会が主体となって行っています。皆様のご意見、ご希望を賜って充実した紙面づくりを目指します。

今後ともご協力の程お願い申し上げます。

#### 広報誌編集委員

近谷 正孝  
多々見 弘之  
吉野 つる子  
山本 修二